

天皇陛下御製

五首

平成三十年

第六十九回全国植樹祭

生ひ立ちて防災林に育てよとくろまつを植う福島の地に

第七十三回国民体育大会開会式

あらし迫る開会前の競技場福井の人ら広がり^{まへ}をどる

第三十八回全国豊かな海づくり大会

土佐の海にいしだひを放つこの魚^{うを}を飼ひし幼き遠き日しのぶ

沖縄県訪問

あまたなる人ら集ひてちやうちんを共にふりあふ沖縄の夜

西日本豪雨

濁流の流るる様を写し出だすテレビを見つつ失せしをいたむ

天皇陛下御製 五首 平成三十年

第六十九回全国植樹祭

生ひ立ちて防災林に育てよとくろまつを植う福島の地に

両陛下は、本年六月、全国植樹祭御臨席のため、福島県においてになりました。東日本大震災で大きな被害を受けた地域に海岸防災林を育てるため、クロマツの苗木をお手植えになったときのことを詠まれた御製です。

第七十三回国民体育大会開会式

あらし迫る開会前の競技場福井の人ら広がりをどる

本年九月、両陛下は、国民体育大会御臨場のため、福井県をご訪問になりました。御製は、近づく台風の影響を受け、雨が降りしきる福井県営陸上競技場において、開会式前に地元の人々が吹奏楽を奏し、雨の中けなげに踊る様をご覧になったときのことをお詠みになっています。

第三十八回全国豊かな海づくり大会

土佐の海にいしだひを放つこの魚を飼ひし幼き遠き日しのぶ

陛下は、学校の夏休みの時期沼津御用邸にご滞在の折、地びき網にかかったイシダイなどの稚魚を水槽でお飼いになっておられました。本年十月に高知県で開催された全国豊かな海づくり大会において、当時のことを懐かしく思い出されながらイシダイを御放流になったことをお詠みになった御製です。

沖縄県訪問

あまたなる人ら集ひてちやうちんを共にふりあふ沖縄の夜

両陛下は、本年三月、沖縄県をご訪問になりました。御製は、一日の行事を終えられた後、那覇市のお泊り所で地元有志による提灯奉迎の時に、遠距離であっても、お互いに語り合うように灯を振り合わせた思い出をお詠みになつています。

西日本豪雨

濁流の流るる様を写し出だすテレビを見つつ失せしをいたむ

「平成三十年七月豪雨」（いわゆる「西日本豪雨」）は、西日本の広い地域に河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害をもたらしましたが、その様子を伝えるテレビニュースをご覧になったときのことをお詠みになった御製です。九月には、特に被害の大きかった広島県、岡山県及び愛媛県をご訪問になり、被災者をお見舞いになりました。

皇后陛下御歌

三首

平成三十年

与那国島

与那国の旅し恋ほしも果ての地に巨おほきかじきも野馬のうまも見たる

晩夏

赤つめくさの名ごり花はな咲くみ濠をを儀装馬車一台役終やくをへてゆく

移居といふことを

去れる後のちもいかに思はむこの苑そのに光満ち君の若くませし日

皇后陛下御歌 三首 平成三十年

与那国島

与那国の旅し恋ほしも果ての地に巨きかじきも野馬も見たる

両陛下は、本年三月、日本最西端の地である沖縄県与那国島をご訪問になりました。御歌は、島の人々の説明を受けながら同島西端の西崎で水揚げされた巨大なカジキ、東端の東崎で島の野馬等をご覧になったこの旅のことを懐かしく思い出され、お詠みになっています。

晩夏

赤つめくさの名ごり花咲くみ濠べを儀装馬車一台役終へてゆく

アカツメクサの花期も終わりに近づく晩夏、新任に当たり陛下に信任状を捧呈した外国の大使を送った儀装馬車が、役目を終え皇居のお濠端をゆつくりと戻っていく姿をお認めになったときのことをお詠みになったものです。

移居といふことを

去れる後もいかに思はむこの苑に光満ち君の若くませし日

来年四月末の陛下の御譲位の後、両陛下は平成五年十二月からお住まいになつてきた御所から高輪皇族邸にお移りになることとなっています。御歌は、御所にお移りになって間もない時期、お庭にお出ましのまだお若かった陛下の様子を思い起こされてお詠みになっています。